

平成22年度東北海区海況予報 第3号

東北海区海況予報は、H20年度から、独立行政法人水産総合研究センターと独立行政法人海洋研究開発機構の共同研究により開発されたFRA-JCOPEシステムを用いて行っている。FRA-JCOPEシステムでは、1週間ごとに2ヶ月先までの予測が更新される。

詳しくは、<http://fj.dc.affrc.go.jp/fra-jcope/index.html>を参照のこと。

《今後の見通し（2010年8月～9月）》（注）FRA-JCOPEシステムによる結果

- (1) 近海の黒潮の北限位置はかなり南偏～極めて南偏（北緯35° 20' 以南）で推移する。
- (2) 三陸沖の暖水塊は停滞し、常磐沖の暖水塊は西進する。
- (3) 親潮第1分枝の張り出しは極めて南偏（北緯38° 40' 以南）となったのち、平年並み（北緯40° 10' ～40° 50' ）となり、三陸近海に親潮第1分枝に連なる冷水域が形成される。
- (4) 親潮第2分枝の張り出しはかなり南偏（北緯39° ～39° 20' ）となったのち、やや北偏（北緯40° 30' ～41° ）となる。
- (5) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しはやや弱勢～やや強勢（東経142° 30' ～143° 20' ）で推移する。

《海況の経過（2010年1月～6月）の特徴》（注）FRA-JCOPEシステムによる結果

- (1) 近海の黒潮の北限位置は、平年並み～かなり南偏（北緯34° 50' ～36° 20' ）で推移した。
- (2) 1月に釧路の南東200km沖にあった暖水塊は3月に暖水域となった。1月に三陸沖180kmにあった暖水塊は停滞した。4～5月には鹿島灘沖440kmに暖水塊が認められた。5～6月には金華山のはるか沖に暖水塊が認められた。
- (3) 親潮第1分枝の南限は、平年並み～やや南偏（北緯38° 50' ～40° 50' ）で推移した。
- (4) 親潮第2分枝の南限は、1月はやや北偏～かなり北偏（北緯40° 50' ～41° 30' ）であったが、2月以

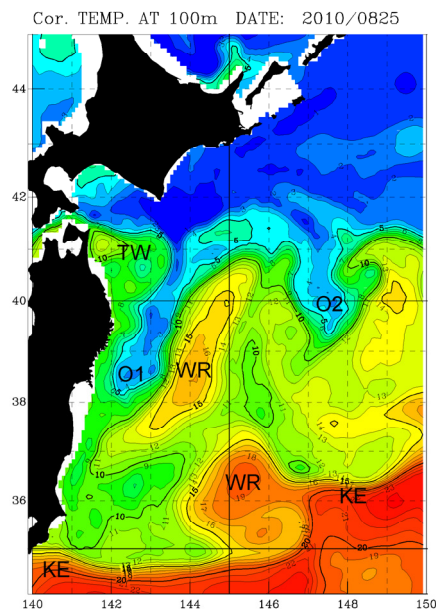
降は、平年並み～極めて南偏（北緯38°～40°）で推移した。

(5) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、変動が大きく、1、3月はやや弱勢～かなり弱勢（東経141°50'～142°20'）、2、4、5、6月は平年並み～かなり強勢（東経142°40'～143°20'）で推移した。

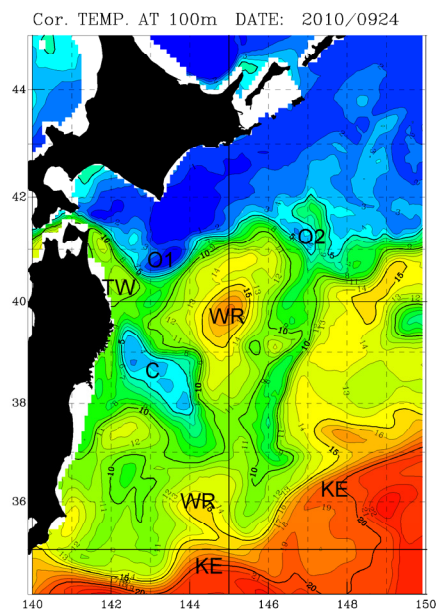
《現況（2010年7月下旬）の特徴》（注）FRA-JCOPEシステムによる結果

- (1) 近海の黒潮の北限位置はやや南偏（北緯35°40'）である。
- (2) 暖水塊が三陸沖約220kmと常磐沖約450kmにある。
- (3) 親潮第1分枝の張り出しはやや南偏（北緯39°30'）である。
- (4) 親潮第2分枝の張り出しは平年並み（北緯40°）である。
- (5) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しはかなり弱勢（東経142°10'）である。

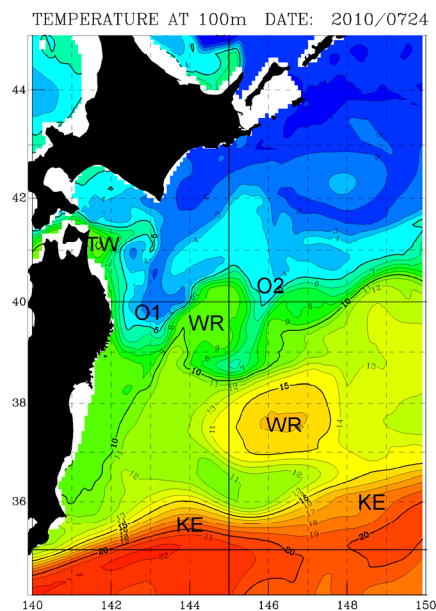
8月下旬予測水温分布図（100m深）



9月下旬予測水温分布図（100m深）



7月下旬現況水温分布図（100m深）



図中の記号はそれぞれ、O1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、Cが冷水域、WRが暖水塊、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流の位置を示している。